

生野中学校区 学校適正配置検討会議（第3回） 会議録

1 日 時 令和2年8月26日（水） 午後7時から

2 場 所 生野区役所 6階大会議室

3 出席者

（委員）

石川 隆久委員、浮田 和之委員、大西 範幸委員、金城 知男委員、金 賢一委員、
菰池 愛委員、下村 泰子委員、森 秀直委員（座長）、吉田 貴司委員

（学校）

楠井 誠二（生野中学校長）、末田 美幸（林寺小学校長）、中山 吉一（生野小学校長）、
庄司 量士（舍利寺小学校長）、禰宜田 陽子（西生野小学校長）

（教育委員会事務局）

山口 照美（生野区長兼生野区担当教育次長）、櫻井 大輔（生野区副区長兼生野区教育
担当部長）、樋口 義雄（総務部首席指導主事兼生野区役所こども未来担当課長）、花月
良祐（総務部学校適正配置担当課長兼生野区役所地域活性化担当課長）、大川 博史（地
域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長）、川楠 政宏（地域活
性化担当課長代理兼教育委員会事務局総務部教育政策課生野区教育担当課長代理）、竹口
一吉（学事課担当係長）、竹中 一郎（生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育委員
会事務局総務部教育政策課担当係長）、白石 秀一（生野区役所地域まちづくり課係員兼
教育委員会事務局総務部教育政策課係員）、西川 明宏（生野区役所地域まちづくり課係
員兼教育委員会事務局総務部教育政策課係員）

（傍聴）0名

4 議題

（1）校名案について

（2）通学路案及び通学路案の安全対策について（報告）

5 議事要旨

（1）行政からの説明

【校名案について】

（校名専門部会長より報告）

（議事資料に沿って報告）

- ・前回の検討会議において、校名案については、7つに絞り込み、児童・生徒を対象に投票を行うこととした。
- ・投票結果のとおり、各小学校、中学校において投票が多かったのは「生野未来学園」。4割を超える得票率であり、どの学校においても最多の得票数であった。
- ・校名専門部会では、児童・生徒の投票結果を参考に、これまでの議論経過や前回の検討会議における意見も踏まえて意見交換を行った。これまでの会議等で、既存の4小学校と全く違う新しいイメージの校名を検討してはどうか等様々な意見があり、当部会においても意見交換を行ってきたが、現在、学校に通っている児童・生徒が、学校再編後、自分たちが通う学校、自分たちが通った学校を誇りに思える学校名として、選んだ結果を尊重した

い、という理由から、4割以上の得票数を集めた「生野未来学園」を採用した。そのうえで、児童・生徒の意見でもある投票結果を参考にし、「生野未来」というキーワードを軸としながら、名称の長さ、キーワード、音の響き等や校種の解りやすさ・アピールについて意見交換した結果、「大阪市立義務教育学校生野未来学園」を新しい校名案として選定し、検討会議への報告とすることとした。

- ・新しい校名案の選定に至る意見交換の内容は資料のとおり。

【（報告）通学路案及び通学路案の安全対策について】

（説明者：大川地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長）

（報告資料に沿って説明）

- ・林寺小学校区の保護者や地域の皆様と、8月1日及び8月8日に新しい通学路のルートを歩き、気になる点についてご意見をいただいた。ご意見をいただいた地点や内容は別紙1-1、別紙1-2のとおり。
- ・今週末の8月29日にも一緒にまわっていただく予定としている。
- ・生野小学校区の皆様と、8月11日に通学路案の変更箇所を中心に点検し、ご意見をいただいた。ご意見をいただいた地点や内容は、別紙2-1、別紙2-2のとおり。
- ・通学路案及び通学路案の安全点検について、現在、小学校区ごとに点検をしているところであり、いただいたご意見により、建設局や警察等の関係機関と調整し、皆さまにご報告できるようになれば専門部会を開催してまいりたい。

【校章・校歌について】

（花月総務部学校適正配置担当課長兼生野区役所地域活性化担当課長）

- ・校章・校歌の専門部会委員は、浮田委員、永松委員、古瀬委員、吉田委員である。今後、よろしく願いたい。
- （その他資料1に沿って説明）
- ・校章の進め方について、予定としては第1回目の専門部会で、新しい校章案の決定に向けた進め方について、意見交換したい。
- ・その後の進め方は学校再編の先事例等を参考に、進め方の案を記載している。
- ・現在考えているのは、行政側で作成する校章案をもとに意見交換していただき、複数候補を挙げたうえで、児童・生徒を対象に投票を行い、その投票結果を参考にして、専門部会において校章案を選定し、検討会議において意見交換したい。
- ・校歌についても、校章と同様に専門部会において、新しい校歌制作に向けた進め方について、意見交換したい。
- ・決定した内容を検討部会へ報告いただき、それをもとに議論を進めていきたい。
- ・専門部会の開催日程につきましては、近日中に調整する。

【標準服専門部会について】

（樋口総務部首席指導主事兼生野区役所こども未来担当課長）

- ・標準服専門部会の委員については、菰池委員、下村委員、永松委員、森委員、吉田委員である。よろしく願いたい。
- （その他資料2に沿って説明）
- ・標準服の進め方は、予定としては、9月に貸与する標準服の数量等をお示しし、進め方に

ついてご意見を伺いたいと考えている。

- ・進め方について、案ではあるが、これまで学校再編を進めてきた桃谷中学校と、現在、取り組みを進めている御幸森小学校と中川小学校の学校再編における、標準服の進め方を参考にしている。
- ・進め方の案としては、10月に、学校長を中心に学校で保護者の標準服に求める意見を年内にとりまとめる。
- ・学校においてとりまとめた意見は、12月終わりか1月あたりに区役所に報告し、年明けの専門部会にて、取りまとめ内容を報告し、意見交換を行ったうえで、標準服の仕様を決定する。
- ・その後、標準服を作成する業者を募集し、検討会議等において、業者によるプレゼンを実施し、学校に見本を展示したうえで、児童・生徒を対象にアンケートを実施する。
- ・アンケート結果を参考に、専門部会及び検討会議において意見交換し、標準服を決定していきたいと考える。
- ・進め方については、示した案について、専門部会で意見交換してほしいと考えているため、変更する場合がある。

(2) 意見等の概要

【校名案について】

- ・もともと、「生野」が入っていない校名案を望んでいたが、部会でそういう結果になったのであれば、尊重したい。ただし、投票結果を参考としていることから、子どもが決めた、というのではなく、あくまで大人が決めたものとして扱いたい。その方が説明もつきやすい。
- ・「生野」についてのイメージはそれぞれで違うと思う。もちろん誇りをもっている子どももいる。
- ・大人が決めたという責任はずっと残る。しかし、この「生野未来学園」が、将来、大阪で一番よい義務教育学校となり、他区からも通ってもらえるようになればよいと思う。
- ・その他、意見がなければ新しい校名案は「大阪市立義務教育学校生野未来学園」でよいかなければ拍手で賛同願いたい。
→全委員の拍手にて確認。
- ・補足として、専門部会では、正式名称を書く際の長さについても意見が出た。音の響き、「未来」というキーワードも低学年が覚えやすいのでは、などの意見もあった。
- ・正式決定はいつか。外部でも、この名称を出してもよいのか。
→最終的には、議会に学校設置条例を諮ることになる。
→今日の結果は早急にHPや検討会議ニュース、会議録により速やかに広報する。まずは資料だけでもHPへ掲載する手続きを行い、その他ツイッターなどで周知していく。
→決定かどうかについては「校名案」が決定したことになる。
- ・これから教育委員会会議にかけるのか。
→最終的には市会での承認が必要。その前段として、教育委員会会議に諮り、決定後、年明けの2月・3月市会において、学校設置条例の改定を提案、承認されれば最終決定となる。

- ・教育委員会会議はいつか。
 - 毎月開催しているが、また担当者と調整し、教育委員会会議に諮り、その結果を改めてお示ししたい。
 - ・校名が決まったと言っていいのか。こういう名前で再編が進んでいくと地域に言っていいのか。
 - この検討会議の結果は、複数の媒体で周知していく。検討会議ニュースを生野区役所で作成するので、周知する。
 - 検討会議での決定事項として、今日以降「大阪市立義務教育学校生野未来学園」が校名案として決定したことは伝えてよい。
 - ・この決定が覆ることはあるのか。検討会議にて決定した校名案として、あとは市会での承認作業のみであろう。
 - この検討会議は、大阪市立学校活性化条例に基づくものであり、教育長名で委嘱している委員のみなさまが議論いただいている内容である。市会の承認が必要であるが、校名案が決定したとして伝えていただいて問題ない。
 - ・例えば、家で子どもに言ってもいいのか。
 - 大丈夫。
 - では校名案については決定事項とする。
- 【（報告）通学路案及び通学路案の安全対策について】
- ・府営住宅の前に 10 m 道路があると思うが、どの道のことか。
 - 今回できた 13 号棟が、この地図で言うと④、四角で囲んでいる右の白い部分。
 - ・赤のラインのことか。
 - そのとおり、赤のラインが通学路案である。
 - ・自分たちの地域で、見守りなどに出ている人たちがいる。その人たちにこういった案が出ているのだということを伝えたい。そこで、この通学路案は正確にどの道なのか。
 - そうではない。
 - ・この辺りの道は、細いが相互通行である。それも行政は把握しているか。
 - 学校区をまわった際にも、そういったご意見を頂戴している。
 - 別紙 2－1 の資料で、青の縦の線で示しているのが変更箇所、その左にある点線のラインが変更前の通学路案である。
 - 河堀口舍利寺線について、今年度中に歩道が整備されるという予定が入ってきたため、その歩道を最大限活用する。数字の①の部分、用地買収が終わっている部分で現在空き地になっているところのネットフェンスを下げて、歩行者空間を確保する、といった措置を、来年度予算を確保して実施していくということでルートを変更した案を提案した。
 - ・工事などは絡まないのか。自分たちの地域は再開発などがある。そういったものが通学路に影響しないか。
 - 現時点では、工事期間と被ることにはなっていない。
 - 豊里矢田線、疎開道路、生野南部については用地買収の進捗に関わるが、そういった進捗に応じて工事が入ってくるかもしれない。

→工事の情報については先に行政側で掴み、どういった工事なのか、工事が入るとすればそのまま通すのか、違うルートにその間替えるのかといった議論は、随時状況が変わり次第、きっちりと検討してまいりたい。

- 例えば学校が始まってから、途中で子どもたちに迂回させるようなことはよくない。
- 変更後のルートで、途中空き地になっている部分についてはこれから何かの工事が入るのではないかと。そういった予定があるのなら、一本横にずらすなど考えた方がよい。

→おそらく別紙 2—1 の青い線のクランク状になっている部分のことかと思う。

- 番号で言えば①番のところ。

→計画図面などについては改めてご説明させていただきたい。

→南から北に向いて、河堀口舍利寺線との突き当たりが、現在空き地でネットフェンスで囲まれている。北に渡ったところは、ネットフェンスを下げて、子どもたちが溜まれるスペースを確保する。それと、①の部分については、同様にネットフェンスを下げ、約 2.5 m の歩行者空間を確保する、といったことを現在、南部事務所に依頼しており、来年度それが可能であれば、予算を確保して施工していただく。そういった段取りで進めている。

- 写真を出してほしい。地図だけではイメージがつかない

- 電柱についても、この辺りは交互に設置されており、間隔が狭く感じる。そういった部分についても検討してほしい。

→安全対策の専門部会では、頂戴したご意見も踏まえ各箇所の写真も配布し、その上で議論いただけるようにする。

→電柱は現状、移設予定ではない。逆に電柱があることで、車道と歩行者部分に分かれているといったこともある。

→そういった部分も、合わせて専門部会で説明させていただきたい。

- 早めに情報をほしい。地域みんなで子どもたちを守っていかねばならない。自分たちも地域に向けて説明するにあたり、まとめてポンと説明するのではなく、「こういった通学路になっていく」というのを少しずつでも事前に説明していきたい。

- そうすることで、地域からも「こうしたらどうか」という意見も出やすいだろう。また、予定されている通学路付近の住民にも、「毎朝子どもたちの声が聞こえるかもしれないが是非声かけしてほしい」などもお願いしやすい。

- 通学路の現地確認の件であるが、8 月の 1 日と 8 日の 2 回、生野および西生野地域に同行した。区役所および教育委員会側において、当日参加した林寺小学校地域の保護者の方の意見等をしっかり吸い上げ、このような形で資料にいただいたことに感謝する。

- もともと、現地での確認に漏れが出ないように、3 回という回数を提案していた。今週末に最後 1 回、現地確認の予定が残っている。当日、PTA 役員にも参加いただく話も出ているので、しっかり確認していきたい。

- その 3 回で出た意見等について、検討会議および通学路の専門部会にてしっかり詰めていただき、保護者等へ意見が反映されていくような形にしていきたい。

- また、保護者等から出ている意見に対しても回答がほしい。意見は出したが、あれはどうなったのだろう、などが無いよう、意見等に対する回答をしてもらえよう説明会など

を実施してほしい。今すぐでなくてもよい。涼しくなった頃あたりに。

- ・その説明会、参加対象は意見を出した保護者、参加できなかった保護者はもちろんであるが、新入学生の保護者なども含めてほしい。

【校章・校歌について】

- ・作詞作曲を依頼するにあたり、予算というものはあるのか。もしくは全くないのか。
- ・例えばプロに依頼するなど。舍利寺地域にはそういった人がいる。依頼する、しないは別として教えてほしい。
 - 作詞および作曲について、外部委託する際の委託料や報奨金といった予算は、現状ない。
 - 専門部会のなかで必要となれば、予算担当部署と調整していきたい。
- ・例えば原案を依頼し、採用されたとしても、作者として名前が残るだけということだろう。
 - 過去に、無償として歌詞の公募を行ったが、多数の応募があった。
- ・どこの学校か。
 - 桃谷中学校。歌詞を無償として公募した際に全国から多数の応募があった。
- ・西生野小学校では、50周年の際に校歌を編曲してもらった。プロに頼もうかという話も出たが、教育委員会の中でそういったことに長けた先生がいたため、その方に依頼したような経過もある。
- ・生野の未来を担う学校、なのであれば、それなりの予算があるのかが気になった。
- ・もし現役の先生に依頼できるとしても、授業もある。してもらうには負担が大きいかと思う。そうなれば有償もありかと思った。
- ・報酬があるとすると、100万円などの高額ではないだろう。あっても5～10万円程度かと思う。それならば、むしろ無償で受けた方が格好もつく。
- ・小学校と中学校、同じ歌になるのであろう。9年制なのだから。そういった基準も事前に確認しておく、専門部会でも検討しやすい。
 - 義務教育学校として9年制なので、1つの校歌と考えている。

【標準服について】

- ・以前に聞いたかもしれないが確認したい。標準服、1～9年制まで同じものか。また、支給の対象学年は、令和2年4月の2～6年生、中学生でいうところの8～9年生で間違いなかったか。
 - 種類については1種類。その他の義務教育学校を調べると、低学年には標準服とは別に白系のシャツをOKにしているところもあった。
 - 支給対象については、2～6年生、8～9年生において買い替えが生じるため、行政で支給する。
- ・検討していなかったのか。1年生から支給してほしいと意見を出していた。
- ・制服のリサイクルというのもあり、最初から新品の制服を着ることができる子どもばかりではない。その点についても考えないといけない。
- ・1年生への支給に対しては私は反対。在校生は1度制服代としてお金を支払っている。1年生に支給してしまうと、全く払うことがなくなってしまうため、差が出てしまう。
- ・リサイクルの考え方ももちろんあるが、実際にリサイクルの制服を着用する子どものパーセンテージは非常に少ない。

- ・もし、金銭面での問題があるならば、例えば貸出を行うなども検討してみては。
- ・全員リサイクルにすることもいいかもしれない。
- ・リサイクルで全員を賄えるか。難しいかもしれない。
- ・使えるものはリサイクルしていくという考え方でよいのでは。
- ・検討してほしい。他の委員からの発言も意見なのだから、検討すればよい。
- ・先ほども言ったが、在校生は1回支払っていることについて、声があがるかもしれない。
- ・暫定で、旧制服を着続けることもよいのではなかったか。
- ・リサイクルで、旧小学校の制服が回ってきた際に、新1年生が着てくることもダメとは言えなくなってくる。
- ・詳細については部会で決めていこう。検討会議では議論が尽きないと思う。
 - これまでの学校再編による制服貸与について、これは、買い替えが生じる事を理由に、2～6年生を対象に貸与していたものである。
 - もし、新1年生において経済的に購入が難しいのであれば、就学援助制度の入学準備補助金といったものを利用することも方法としてある。
- ・自身の経験上ではあるが、過去、学校の統合等で、旧校の制服を着ていた子どもを見たことがない。時代は変わっているかもしれないが。

【その他】

- ・安全対策の専門部会はいつ開催されるのか。
 - 29日に3回目の通学路の現地確認があり、それ以降頂戴した意見について、建設局や警察と調整の後に部会開催を予定している。調整にかかる時間が現時点では読めないが、調整でき次第開催する。
 - 安全対策についての案は作成していくが、それで終わるのではなく、工事などで状況が変わるかもしれない。随時、対策の変更を検討していき、子どもの安全を考えていきたい。
 - 部会開催の日程調整は改めて行いたい。
- ・校歌・校章の部会はいつ開催するのか。
 - 9月中旬を目途に開催したいと考えている。
 - 会議終了後、日程調整したい。
- ・標準服の部会はどうするか。通常、検討会議は第4水曜日としているため、それまでに開催する必要があるのでは。
 - 通常第4水曜日としているが、次回については、連休明けかつ議会等の状況により、第5水曜日の9月30日を提案したい。
- ・9月30日で問題ない。
- ・前倒しにすることはできないのか。
 - そうすると、部会が追い付かない。
 - では、次回の検討会議が9月30日となったため、校歌・校歌および標準服等の専門部会開催はそれ以前の日程で会議終了後に調整したい。
- ・自宅周辺のポストへ、「学校統廃合を考える会」が作成したカラー刷りのビラが投函されていた。

・未就学の子どもを持つ地域の保護者が不安に思っている。新しい学校は本当に開校するのか。

→再度申し上げる。本日この検討会議において校名案が決定した。来年2月・3月市会があり、そこで、承認、条例改正という手続きが最終である。

→この検討会議は、今年の4月より施行された大阪市立学校活性化条例により開催している。その条例の規定に基づき教育長から委嘱されている委員のみなさまに議論いただいているため、この会議の中で決定した事項については、最終市会の承認は必要であるが、決定として認識いただいてよい。

→大阪市立義務教育学校生野未来学園として令和4年4月開校することは決定している。

・「生野区の学校統廃合を考える会」、このような団体は本当にあるのか。

・それが実際に保護者の不安を煽っているのだろう。

→不安を与えてしまっているところは申し訳なく思っている。行政側より、会議で意見をいただき、こういったことが決まった、ということは、学校通じて、その他媒体で発信していく。不安を解消できるように対応していきたいと考える。

・このポスターに対抗するぐらいの、しっかりしたポスターをこちらで作って対抗すればよいのでは。お金はかかるかもしれないが。

・「コロナ禍のどさくさに紛れて工事を進めている、さらにそのうえ校名まで決めた」と言われかねない。

・議会で形式的に言えないのか。

・西生野小学校の工事はいつ終わるのか。

→来年の夏頃を予定。ただし、その後引き続き改修工事等が続く。

・工事の様子については、市会議員も訪問したと聞いている。

・議員が来たのか。

→市会議員。

・市会議員であれば、数えるほどしかいない。

・西生野小学校に来たのか。

・工事現場の視察という位置づけだと思う。この辺の会の人らも見に来ている。

→これまで工事については大まかなスケジュールを説明していたが、今後、詳しいスケジュールなどを説明する場も調整したい。

・建物のイメージ図はないのか。そういったものを作成し、開校することをアピールしていくことも大事。

→国の方針がそもそも学校の適正配置を行うとなっている。

→子どもたちがたくさん友達を作り、励まし合いながら育ってほしいという思いがある。また、自分自身も小規模校の校長をしていた際、人間関係の幅について、特に高学年ぐらいになってくるといろいろな意見を聞いたり、クラス替えによって新しい出会い、その中で人間関係を結んでいくという練習をしてほしいと考えていた。

→「生きる」と「未来」という言葉が入った校名にとっても素敵なものになったと感じた。

→校名や通学の安全を考え、標準服や校歌を作る、その学校に通った子どもたちがこの街で育ち活躍するような未来を私たちが今作っている。

→色々なご意見も重々受け止めているが、前例に囚われない新しい学校を作りたいからこそ、大阪市初の義務教育学校だと考えている。

→本日のご意見でもあった、未就学児の保護者の不安の声など、是非届けていただきたい。説明にもお伺いしたい。

→校名案が決まり、ここまで来たということ、そしてこれから引き続き一緒に具体的に一つ一つ積み上げ、令和4年4月を迎えたいと思っている。

- ・林寺小学校では、発達障害の子供たちのために、仲良し学級をつくっている。状況によって仲良し学級と通常学級を行き来することもあるが、教員の方々にしっかりサポートいただいている。そういった親御さんから、今までの環境と同程度となるのか心配されている。何か決まっていること、検討されていることなどあれば聞きたい。

→学校の中身を作るために、一人ひとりの状況を4小1中の校長、教員のなかで、情報共有し、検討している。現在、各学校でしている手厚い支援を、義務教育学校でも継承し、実施していくように進めている。

- ・今後の説明会などでも内容に盛り込んでもらえると助かる。

(3) 確認事項等

- ・校名案について、校名専門部会より報告のあった「大阪市立義務教育学校生野未来学園」とする。
- ・通学路の安全対策における専門部会については、建設局や警察など、関係各所との調整が済み次第、早急に開催する。
- ・校歌については、義務教育学校として1つの校歌を決めていく。
- ・校名案が決定したことから、校章・校歌、標準服について、専門部会において意見交換を進めていく
- ・次回の検討会議の開催日については、9月30日（水）とする。

6 会議資料

- ・生野中学校区 学校適正配置検討会議（第3回）次第
- ・議事資料 校名案について
- ・報告資料 通学路案及び通学路案の安全対策について
- ・その他資料1 校章・校歌について
- ・その他資料2 標準服について
- ・参考資料 他の学校再編における校章・校歌・標準服に係る進め方の事例